

Zone A 学校

※対面とオンラインのハイブリッド形式での開催です。申し込み時に参加形態をお選びください。

21世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う

－多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校・園の在り方を探る－

Zone A は、これまで「21世紀型の学びを支える教師の学習コミュニティを培う」というテーマを掲げて、学校や園が持続・発展していくための授業改革・教師協働の在り方について考えてきました。加えて、多様な背景や困り感を持つ子どもも含めたすべての子どもが、あるがままの存在として生き、育つことのできる教育の在り方についても議論を積み重ねてきました。そこでは、子どもがありのままの自分を出しにくい学校の状況があり、また教師も「主体的・対話的で深い学び」を実現することが難しいなどの悩みが共有されてきました。このような状況を踏まえつつ、教師間、子ども間、教師と子ども間の学習コミュニティの学びを深めていくためには、対話や協働の在り方をもう一度見つめ直すことが重要である点を参加者とともに共有してきました。これらの視点は、教育・保育を考える上で極めて重要だと言えます。前回 2022 Summer Sessions では、子どもたちとのくらしや授業の中での「探究」を支える教師協働の在り方や、子どもたちの主体的な学びを支えていく過程での学校の変容に焦点を当てて議論してきました。

そこで、実践研究福井ラウンドテーブル 2023 Spring Sessions では、子どもが個性や能力を発揮し、学び合い育ち合う学校を実現するために、一人ひとりの子どもに寄り添って学校の当たり前を問い直し、教職員が協働していく組織をいかに構築していくのかについて、そこでのリアルや苦労なども含めて参加者のみなさまと共に協働探究し、子どもと子ども、子どもと教師、教師と教師の対話や協働の質をいかに高めていくのかを検討したいと思います。

Connection	14:00-14:30	オンライン接続
Orientation	14:30-14:40	オリエンテーション
		対面会場 教育系1号館2階大1講
Session I	14:40-16:00	「多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校づくり」
Symposiums		
<シンポジウム>		<シンポジスト>
	14:40-15:00	信州大学教育学部附属松本小学校 教諭 片原 範子 「ピーター、クララ、2頭のヤギとの暮らしを通して」
	15:00-15:20	福井県大野高校 定時制 教頭 上中 一司 「大野高校定時制での取り組み」
		探究的な学習プロセスの中で、相互作用を通して子どもたちが学び合っていくストーリー、それを支える先生たちの組織・コミュニティについて話題提供を踏まえて考えていきます。
全体討議	15:20-16:00	<コーディネーター> 福井大学連合教職大学院 宮下 正史
<休憩>	16:00-16:20	
Session II	16:20-17:40	Breakout Room 対面会場は当日ご案内します
Cross-session		Session I の議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。
現状共有と明日への展望		